

週間火山概況 (平成 24 年 6 月 15 日 ~ 6 月 21 日)

【火山現象に関する警報及び予報の発表状況】

いずれの火山についても、噴火に関する予報警報事項（警戒が必要な事項）に変更はありません。

表 1 火山現象に関する警報及び予報の発表履歴 (6 月 15 日 ~ 6 月 21 日)

発表日時	火山名	警報・予報	概要
毎日 07 時、17 時	三宅島	火山ガス予報	島内の火山ガスの分布予想

表 2 6 月 21 日現在の噴火警報・噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3 (入山規制)	霧島山 (新燃岳)、桜島
	レベル 2 (火口周辺規制)	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
火口周辺警報及び火山現象に関する海上警報	火口周辺危険及び 周辺海域警戒	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル 1 (平常)	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (御鉢)、口永良部島
	平常	上記以外の活火山



図 1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山 (6 月 21 日現在)

【警報発表中の火山の活動状況及び警報事項】

三宅島 みやけじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

噴煙の状況は、今期間、悪天候のため確認できませんでしたが、火山活動に特段の変化は認められませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があると考えられる地域では、火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 いおうとう [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

4月下旬から5月初めにかけて火山活動が活発化し、国土地理院の地殻変動観測でも、急速な隆起の後に沈降を観測しましたが、その後沈降傾向は鈍化し、今期間はほぼ停滞しています。火山性地震はやや少ない状態で経過しており、火山性微動は観測されませんでした。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（おきなほま 翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福德岡ノ場 ふくとくおか の ば [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上自衛隊が上空から実施した観測によると、15日に福德岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近から、半径約50m内にわずかな薄青白色の変色水が確認されました。

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山（新燃岳） きりしまやま しんもえだけ [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

新燃岳では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いているものの、今期間は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

傾斜計¹⁾では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

国土地理院の地殻変動観測結果によると、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月頃から鈍化し、2012年1月以降ほぼ停滞していましたが、一部の基線では5月頃からわずかに縮みの傾向がみられます。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011年の噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から10kmを超えて降っています。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。

桜島 さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では、活発な噴火活動が続いています。

昭和火口では、爆発的噴火が9回発生し、大きな噴石²⁾が5合目（昭和火口より500～800m）まで達しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、噴火に伴う火山性微動が時々発生しました。

国土地理院の地殻変動観測結果によると、^{あいら}始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや高い状態が続いています。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では今期間噴火は観測されませんでした。長期にわたり噴火を繰り返しています。

火山性地震は少ない状態が続いています。振幅の小さな火山性微動が時々発生しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

【噴火予報発表中の火山の活動状況及び予報事項】

上記以外の火山では、期間中、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
 - 2) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
 - 3) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
 - 4) 九州地方整備局大隅河川国道事務所が黒神河原上流に設置したカメラ等による。
- 注) データについては精査により、後日修正することがあります。

【参考】 噴火警戒レベル・噴火予報と噴火警戒レベル等の対応表

噴火警戒レベル導入火山		噴火警戒レベル未導入火山
噴火警戒レベル（キーワード）	警報・予報	警戒事項等（キーワード）
レベル5（避難）	噴火警戒	居住地域嚴重警戒 または山麓嚴重警戒*
レベル4（避難準備）	火口周辺警戒	入山危険
レベル3（入山規制）	噴火予報	火口周辺危険
レベル2（火口周辺規制）		平常
レベル1（平常）		

*居住地域が不明確な場合

海底火山については、噴火警戒（キーワード：周辺海域警戒）と噴火予報（キーワード：平常）で発表します。